

瀬戸内海を科学する高等学校を募集します！

広島大学生物生産学部では、独立行政法人科学技術振興機構（JST）主催の「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト」（SPP）事業プランBに採択されました。

採択課題は「瀬戸内海の生物と環境を考え、実感するサイエンス（農学・生物・環境分野）」です。

このたび、生物生産学部とともに瀬戸内海を科学する連携高等学校を7校募集します。募集人数は、高校生21名（各高等学校から3名）および教員7名（各高等学校から1名）です。

○実施内容

7月10日〔日〕事前学習

7月25〔月〕～27日〔水〕講座（実験実習とプレゼンテーション）
3つのグループで行います。

（場所は、附属水産実験所、附属練習船豊潮丸、生物生産学部の3カ所）

8月7日〔日〕全体発表会

生物生産学部ホームページに掲載している申請書にてご応募ください。

（URL：<http://www.hiroshima-u.ac.jp/seisei/kodairenkei/>）

「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト」（SPP）とは？

JSTが、児童生徒の科学技術、理科・数学に対する興味・関心と知的探求心などを育成することを目的として、学校などと大学・科学館との連携により、科学技術、理科・数学に関する観察、実験、実習などの体験的・問題解決的な学習活動に対して支援を行っているものです。

広島大学では、「平成23年度のSPP事業プランB」に2件採択されました。

- ・生物生産学部
「瀬戸内海の生物と環境を考え、実感するサイエンス」
- ・大学院理学研究科数理分子生命理学専攻
「数理生命科学実験セミナー 生命現象のリズムやパターンは、なぜ生まれるのか？」

【お問い合わせ先】

広島大学生物生産学部学生支援グループ
山崎・浅利
TEL:082-424-7915

SPP 事業プラン B【BD103079】広島大学生物生産学部主催

SPP 事業「瀬戸内海の生物と環境を考え、実感するサイエンス」を公募

募集・・・生物生産学部とともに瀬戸内海を科学する高等学校を募集します！

連携高等学校：7校（なお、呉市立呉高等学校は JST の規定により本応募時より決定）

募集人数：高校生 21 名（各高等学校から 3 名）および教員 7 名（各高等学校から 1 名）

募集締切日：5 月 31 日 [火] 17 時

講座実施日（参加生徒のスクーリングは②～④）

① 事前打ち合わせと自主学習

各高等学校にて

② 事前学習

7 月 10 日（日）広島大学生物生産学部にて

③ 講座（実験実習とプレゼンテーション）

7 月 25 日～27 日（2 泊 3 日：竹原市、附属水産実験所、附属練習船豊潮丸、広島大学）

④ 事後学習

8 月 7 日（日）広島大学生物生産学部にて

⑤ 事後打ち合わせ

8 月 27 日（土）広島大学生物生産学部にて、学部教員と高等学校の教員のみ

（8 月 28 日（日）は大学一斉停電のため上記に変更予定）

（注意）

（1）生物生産学部へのスクーリングは、各高等学校から教員 1 名と生徒 3 名のグループで参加すること。なお、教員・生徒はすべて同一人物が望ましいが教員については諸事情を鑑みて事業の内容を充分理解の上、交代しての参加も可能です。

（2）事前打ち合わせのために実施担当者（西堀）が高等学校を訪問した際に、ご希望がございましたら出張講義（その内容は要相談）を承ります。授業時間内あるいは放課後でも可能です。

（3）スクーリングの際には同じ高等学校のメンバーと同じグループで原則として行動しません。活動は、3 つのグループ（ハチの干潟〔藻場〕、附属水産実験所、附属練習船豊潮丸）で行います。

【お申し込み】

連携（参加）希望高等学校名、担当教員名、参加者名（学年と性別）および連絡先を、以下の連絡先に e-mail あるいはお電話でお申し込み下さい。

お申し込みとお問い合わせ（どうぞお気軽にご連絡下さい）

広島大学生物生産学部学生支援室（sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp）

主査・山崎進・浅利彩子：082-424-7915 あるいは 5034

広島大学生物生産学部実施主担当者（nishibo@hiroshima-u.ac.jp）

高大連携担当・西堀正英：082-424-7992